

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公開番号】特開2018-95729(P2018-95729A)

【公開日】平成30年6月21日(2018.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2018-023

【出願番号】特願2016-241317(P2016-241317)

【国際特許分類】

C 08 G 77/18 (2006.01)

C 08 G 77/12 (2006.01)

C 08 G 77/20 (2006.01)

【F I】

C 08 G 77/18

C 08 G 77/12

C 08 G 77/20

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月7日(2020.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

全ケイ素に対するM単位($R^1 R^2 R^3 SiO_{1,2}$)の含有量が10m 1%以上であり、全ケイ素に対するT単位($R^6 SiO_{3,2}$)の含有量が80m 1%以下であり、かつケイ素に結合したアルコキシ基およびアルコキシ基以外の反応性官能基を有するポリオルガノシロキサンであって、ポリオルガノシロキサンの全重量に対する前記ケイ素に結合したアルコキシ基の含有量が0.07~4重量%であり、ポリオルガノシロキサンの分子量1000当たりの、前記ケイ素に結合した反応性官能基の数が4~9個であり、圧力0.15torrの減圧下、110°で2時間加熱した際のポリオルガノシロキサンの重量減少が5重量%以下である、ポリオルガノシロキサン。

【請求項2】

全ケイ素に対する前記M単位の含有量が60m 1%以下である請求項1に記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項3】

($SiO_{4,2}$)で表されるQ単位を必須とし、ケイ素に結合したアルコキシ基以外の反応性官能基を有するポリオルガノシロキサンであって、ポリオルガノシロキサンの分子量1000当たりの、ケイ素に結合した反応性官能基の数が4~9個であり、赤外吸収スペクトル分析において、波数1030~1060cm⁻¹の領域にSi-O伸縮振動の最大吸収波数を有し、圧力0.15torrの減圧下、110°で2時間加熱した際のポリオルガノシロキサン成分の重量減少が5重量%以下であるポリオルガノシロキサン。

【請求項4】

全ケイ素に対するM単位の含有量が10m o 1%以上、60m o 1%以下である請求項1乃至3のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項5】

前記ケイ素に結合した反応性官能基が、アルケニル基、メタクリロイル基、アクリロイル基、アシル基、及び環状エーテル基、並びにケイ素とヒドロシリル基を形成する水素原

子からなる群から選択される少なくとも 1 つの基を含む請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 6】

反応性官能基が、ビニル基である請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 7】

反応性官能基が、メタクリロイルオキシプロピル基である請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 8】

40 で液状である請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 9】

25 での粘度が 5 mPa · s 以上 20000 mPa · s 以下である請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 10】

M単位が少なくともトリメチルシロキシ基またはジメチルシロキシ基を含む請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 11】

MQ レジンである請求項 1 乃至 11 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 12】

MTQ レジンである請求項 1 乃至 11 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 13 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサンを含有する組成物。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 のいずれかに記載のポリオルガノシロキサン、又は請求項 14 に記載の組成物、のいずれかを硬化させてなる硬化物。